



保育所だより



令和3年2月号
中部保育所
Tel.63-3221 090-5693-1233

暦の上では大寒を過ぎ立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続いていますね。子ども達はひんやりした空気を肌で感じたり白い吐息を吐いたり、体で季節を感じながら過ごしています。

先月の18～22日まで、きりん・ぱんだ・うさぎ組がすもう大会を行いました。化粧まわしをつけて土俵入りし、みんなの応援のもと白熱した取り組みを見せてくれました。中には悔しくて涙が出る場面もありましたが、次の対戦までに気持ちを切り替えて相手に向かっていく姿に心の成長を感じました。また、土俵の周りでは小さいクラスの子どもたちも応援し、にぎやかな雰囲気ですもうを楽しむことができましたよ。

今年度も2か月ほどとなりました。ご家庭と手を取り合い、お子さん一人一人の育ちをしっかりと支えながら、就学や進級を迎えられるように保育を行っていきたくと考えています。

2月の行事予定

- 1日(月)～5日(金) 身体測定週
- 1日(月) お集まり会・安全の日
- 2日(火) あいさつ運動
- 3日(水) 豆まき会 避難訓練
- 4日(木) 保育所開放日⑥
- 8日(月) 4・5歳児交流保育(北部保育所来所)
◆所外保育:長靴スケート(於:宍道湖公園湖遊館)
(ぱんだ・きりん組・北部保育所4・5歳児)
- 10日(水) 弁当の日
5歳児5施設交流保育(於:平田体育館・平田保育所)
- 11日(木) 建国記念の日【祝日:休所】
- 12日(金) なかよしデー(クッキング:うどん作り)
- 15日(月) ◆修了記念写真(きりん組)
- 16日(火) パースディプロジェクト(きりん組)
- 17日(水) クッキング:ぎょうざ作り(3歳児以上)
- 18日(木) ふれあいデー(一緒に遊ぼう・お別れ会)
- 19日(金) 誕生会 集金日
- 23日(火) 天皇誕生日【祝日:休所】
- 25日(木)～26日(金) なわとび大会(ぱんだ・きりん組)
- 26日(金) 布団持ち帰り日



3月の主な予定

- 5日(金) ◆きりん組親子お別れ会
 - 14日(日) ◆清掃奉仕(9:00～10:30)・第3回役員会
 - 25日(木) ◆令和2年度修了式
 - 30日(火)・31日(水) ◆希望保育
- ◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。



お知らせ・お願い

- *長靴スケート(宍道湖公園湖遊館)について(8日)
ぱんだ・きりん組の子どもたちと、北部保育所4・5歳児の子どもたちが一緒に湖遊館に行き、長靴スケートを楽しみます。
 - *ふれあいデー(一緒に遊ぼう・お別れ会)について(18日)
今年度最後のはやさめ会員さんとの交流です。会員さんと一緒にお手玉やこままわしなどの伝承遊びを楽しんだ後、お別れ会をします。
 - *集金について(19日)
年度末のため、今月は3月分の保護者会費を合わせて集金させていただきますのでよろしくお願いいたします。
- 職員出張関係 ▽は午前・△は午後の研修
15日△障がい者虐待防止・権利擁護研修
【虐待防止マネージャーコース】～絵里
18日△平田中学校区保幼小中連携
推進委員会～黒目
25日△幼児期における環境教育推進
オンラインセミナー～浅野、中井

※この本は玄関の保護者向け貸し出し図書に置いてあります。どうぞご覧ください。



ご寄贈ありがとうございました。

・鉢花～保護者様 ・タオル～保護者様

保育目標～〇冬のあそびを楽しもう。

冷たい風や雪、氷に触れながら、この時期だからこそできる遊びを機会を逃さずに楽しみます。4・5歳児は湖遊館へ長靴スケートに出かけたり、所庭ではたき火をして暖をとったりし、冬ならではの体験ができるようにします。また、先月から興味を持って遊んでいるこま回しやかかるた、羽根つき、けん玉などの伝承遊びを年齢に合わせて体験できるように取り入れていきます。

生活目標～〇身の回りのことを丁寧にしよう。(3～5歳児)

うさぎ・ぱんだ・きりん組は、手洗い・食事・排泄・着替えなどの基本的な生活習慣が身についているかを確認したり、持ち物の整理整頓を丁寧にしようとしたりする気持ちを大切にしながら、認めたり励ましたりして自信につなげていきます。

〇保育士と一緒に身の回りのことをしよう。(0～2歳児)

ひよこ・ことり・りす組は、手洗いや着脱など、簡単な身の回りのことを保育士と一緒にいき、"自分でしたい"という気持ちを大切にしながら見守ったり手を添えたりしていきます。



☆あそびの様子☆

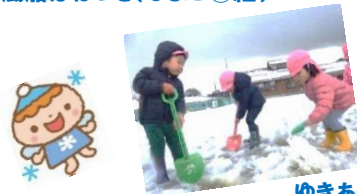


すもう遊び(きりん・ぱんだ組)



風船はなつき(ひよこ①組)

こままわし(ひよこ②組) かるたとり(ことり組)



ゆきあそび(りす・うさぎ組)

☆子育てのヒント☆

「自分のいいところも悪いところも、みんな受け入れられ、愛されている」

～喜びも悲しみも、共感してくれる～

自分の気持ちをわかってもらえる、というのは、いわゆる「共感」です。悲しい時には、一緒に悲しんでくれる。うれしい時には、一緒に喜び。そういう時に、子どもは、「自分の気持ちを分かってくれた」と思います。そして、「愛されている」と幸せを感じます。

子どもが失敗をして落ち込んでいる時、「そんなことで落ち込むな!」と叱咤されることも時には必要かもしれません。しかし、それよりも「つらかったね」「ショックだったね」と、ただつらい気持ちを分かってくれてもらえるだけで、気持ちが癒され立ち直れることの方が多いのです。がんばってうまくいった時、「やったね!」「すごいじゃない!」と、親と一緒に喜んでくれることで、さらに喜びが大きくなり、「よしもっとがんばろう!」という意欲もわいてくると思います。

「子どもをほめて伸ばす」というと、ほめることが、子どもを伸ばす手段みたいですが、大切なことは、子どもの気持ちに共感すること。喜びも悲しみもともにする中で、子どもは、自分が大切にされていると感じ、そこから、前向きに生きていこうという意欲も出てくるのではないかと思います。

「子育てハッピーアドバイス 大好き!が伝わる・ほめ方 叱り方」
明橋 大二著～1万年堂出版・一部抜粋

「自分の気持ちを分かってくれる人がいる」、「失敗しても受け入れてくれる人がいる」というのはとても心強いですよね。

今後も、子どもたちの気持ちに共感し、支えていけるようにと思っています。